

会長挨拶

宮下英雄



新年あけましておめでとうございます。昨年中は、多くの関係各位のご支援、ご協力をいただき、本研究会を推進し、多くの成果を残すことができました。ご支援、ご協力の数々に感謝を申し上げますとともに、どうぞ本年も宜しく御願いを申し上げます。

おかげさまで、本日第8回全国学校飼育動物研究大会を、ここ東京大学で開催することができました。東京大学名誉教授唐木英明先生、白梅大学前学長無藤 隆先生をはじめ関係各位の皆様方のご尽力に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

また、本研究大会の開催に当たりましては、文部科学省、東京都教育委員会、日本獣医師会、ここ地元の文京区教育委員会をはじめ22の関係省庁団体等から、ご後援をいただきました。こんなに多くの後援をいただき開催できる研究会は、そう多くは無いと存じ上げています。

それだけに、研究会に寄せられる期待と成果を、教育界全体、社会全体に寄与すべき責務を強く感じているところです。

本研究会は、発足以来、学校、幼稚園、保育園での、動物飼育等を通して、子どもたちの他を思いやる心や、生命を大切にする態度の育成、また、情操豊かな子どもの育成を目指して、実践的な活動を積み重ねて参りました。その過程におきましては、獣医師の方々の専門的なご指導をたくさんいただき、飼育の危機や、動物の命を救済することができました。動物を一生懸命世話している子どもたちや専門家のいない学校現場の先生方にとっては、獣医師の先生方のご支援、ご協力は、感謝の至りです。

以前、新聞にて、こんな記事を拝見したことがあります。動物病院に、脊椎骨折などで瀕死の重傷を負ったウサギが運び込まれてきました。全身の毛が糞まみれです。連れてきたのは、小学校の若い女の先生でした。「どうしてこんな状態になるまで放っていたのか」と厳しい口調で叱りつけようとしたのですが、その先生の顔を見て、言葉を飲み込み、「お疲れさま、よく来てくださいました。」と迎えたという。女の先生は「誰に相談していいのかわからなくて・・・でも、子どもたちからは、先生何とかして、何とかしてと必死にすがってきます。」と涙をポロポロ流し続けながら状況を話されたという。飼育動物の治療に関する予算などは、学校には全く無いという。予算ゼロの中で、どうすればいいのか、若い先生にとっては分かるはずがありません。

そのようなことがあってから後、県の獣医師の有志たちで、社会貢献として治療費を無償で行おうと模索が行われ始めたという。この女の先生にとっては、獣医師の先生が、まさに救い主であったに違いありません。子どもたちにとっても、必死になって動物の命を守ろうとした経験は、これからの崇高な生き方づくりに大きな影響を残したことと思います。

かつて、我が家でも、このようなことがありました。夜中近くに帰宅したとき。私の帰宅を待ちかまえるかのように、小学生の息子たちが玄関で待っています。愛犬ポチが横たわって動きません。かすかな呼吸しかありません。近所の犬たちが、ジステンパーで次から次へと亡くなっています。いよいよか、と心の中で、私は思いましたが、子どもたちは、何とか病院に連れて行こうと必死です。夜中に、かかりつけの病院の門を家族総出でたたき、診察をしていただきました。その後、元気になり19年間という歳月を、家族の一員として一緒に暮らすことができました。私にとっても、子どもたちにとっても、獣医師の先生は、やはり、救い主でした。ポチは、家族の心の絆ともなりました。また、生きとし生きるものすべてへの畏敬の念と、感謝のこころを学ぶことができました。

このような体験は、ここおられる皆様方の多

くが経験されていることと存じます。動物飼育を経験した人こそが、初めて実感することができる生命尊重の精神であり、畏敬の念であり、感謝と他を思いやる心の啓培にあると強く感じます。

今回の大会テーマを「考えよう。みんなみんな生きている。子どもも、ウサギも、にわとりも」といたしましたのは、動物飼育を通して、生きとし生けるもの、すべてを大切にしようとする心を、改めて考えてみませんかという提言をリサーチしようとしたところにあります。

学校に、獣医師を設置する学校獣医師制度におきましては、時を同じくして、学校保健法の改定が審議されているところです。その経緯の中に、獣医師制度を加味できないかどうかについて日本獣医師会、日本小動物獣医師会を通じて、前向きに検討をいただくようお願いしているところです。

後ほど、このことに関して、衆議院議員の越智隆雄先生も、この研究会にご臨席をいただけるとの、情報も入っているところです。いのち、こころ、脳にまで大きな影響を及ぼす動物介在、飼育を通して、子どもたちの健やかで、逞しい成長を追い求め、そのことが日本国という国家の品格を高めることができるならば、ネ

ットワークや組織を強力にしながら推進することが重要なことであると痛感しているところです。是非、関係各位のお力をいただくとともに、本日までご参加いただいております皆様方と一緒に進んでいきたいと存じます。今後とも宜しく御願いを申し上げます。

最後になりますが、本日までご講演をいただきます文部科学省初等中等局教科調査官永田繁雄先生におかれましては、新しい教育課程告示の直前というお忙しいなか「新しい教育課程と動物飼育、命の教育」と題してお話をいただくことになっております。宜しく御願いを申し上げます。

また、本日口頭発表、並びにパネル発表をしていただきます皆様方におかれましては、日頃の貴重なご実践を発表していただきますことに感謝を申し上げますとともに、本日早朝より、全国からご参加いただきました会場の皆様方、大阪からは市議会の先生方がたくさんご臨席をいただきました。すべての皆様方に感謝を申し上げ、挨拶といたします。ありがとうございました。

(聖徳大学人文学部児童学科教授)



マスコット大



マスコット中



マスコット小